

## 平成 33 年度九州共立大学入学者選抜の予告について

九州共立大学では、文部科学省の「平成 33 年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について（通知）」を受け、平成 32 年度に実施する平成 33 年度入学者選抜の骨子を次の通りとします。

### 1. 見直しの趣旨

国際化、情報化の急速な進展に伴い、社会構造も急速にかつ大きく変貌しています。このような背景から、知識基盤社会においては、新たな価値を創造していく力を育てることが必要であると考えます。このことから、九州共立大学の入学者選抜においては、「学力の 3 要素」（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に判断するものへと移行いたします。

### 2. 入試区分の変更

入試区分につきましては、多面的・総合的な評価の観点からの改善を図りつつ、各々の入学者選抜としての特性をより明確にする観点から、次のように変更します。

変更前	変更後
一般入試	一般選抜
AO 入試	総合型選抜
推薦入試	学校推薦型選抜

#### (1) 「一般選抜」の概要

- 筆記試験に加え、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をより積極的に評価するため、調査書や「JAPAN e-Portfolio」を活用する。
- 大学教育を受けるために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価するため、現行の「大学入試センター試験利用入試」に代わり、「大学入学共通テスト利用入試」を実施する。
- 論理的な思考力・判断力・表現力等を適切に評価するため、国語等において、自らの考えを立論し、さらにそれを表現するプロセスを評価できる記述式問題を導入する。
- 英語については「読む」「聞く」「話す」「書く」の 4 技能を適切に評価するため、現行の試験に加え、大学入試センターが認定した資格・検定試験や大学入学共通テストの英語試験を活用する\*<sup>1</sup>。

#### (2) 「総合型選抜」の概要

- レポート方式において、大学教育を受けるために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価するため、口頭試問を課す（H30 年度入試より導入済み）。
- 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をより積極的に評価するため、調査書（H30 年度入試より導入済み）に加え、本人の記載する資料や「JAPAN e-Portfolio」を活用する。

#### (3) 「学校推薦型選抜」の概要

- 大学教育を受けるために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価するため、口頭試問を課す。
- 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をより積極的に評価するため、調査書（H30 年度入試より導入済み）に加え、本人の記載する資料や「JAPAN e-Portfolio」を活用する。
- 高等学校長からの推薦書において、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を活用する。

\*<sup>1</sup>：資格・検定試験の具体的な活用方法については、今後大学入試センターで認定された資格・検定試験の動向や内容に注意しながら、後日公表いたします。